

普及項目	担い手
漁業種類等	—
対象魚類	—
対象海域	有明海、八代海、天草西海

## 大学と連携した食育推進活動

天草広域本部水産課・陣内 康成

### 【背景・目的】

平成 30 年（2018 年）6 月 28 日、天草地区漁業士会は尚絅大学・尚絅大学短期大学部（熊本市九品寺 2 丁目 6-78）と地域連携食育推進活動実施に関する協定を締結した。

この協定の目的は、両者が相互に連携及び協力し、熊本県産の水産物に対する社会の理解を深め、我が国の伝統のある優れた食文化、地域の特性を生かした食生活環境と調和のとれた食料の生産とその消費等に配慮し、日本型食生活の伝承及び望ましい食生活の形成である。また、伝統料理の食材としての魚介類の価値や魚介類特有の機能性を探求し、優れた食の専門家の育成、栄養士技術の向上等を図るための一助とし、あわせて、熊本県産水産物の消費拡大をとおして、地域社会に貢献することとしている。

### 【普及の内容・特徴】

#### （1）大学キャンパスにおけるイベント「尚絅食育の日」への参加

日時：令和元年（2019 年）6 月 19 日

場所：尚絅大学・尚絅大学短期大学部

参加者：漁業士 2 名、水産課 1 名

概要：同大学の学食において天草産魚介類を用いた当日限定ランチが提供された。

メニューは天丼とアオサ（ヒトエグサ）汁のセットであり、養殖マダイが天ぷらに、アオサがかき揚げ及びアオサ汁に使用された。

同大学のホールにおいて行われたステージイベントでは、天草地区漁業士会濱会長がおさかな〇×クイズの出題を行った。

大学生に天草の漁業を知ってもらうための資料等を学内に展示した。

#### （2）養殖魚加工場見学及び漁業士と大学生との意見交換

日時：令和元年（2019 年）11 月 9 日

場所：熊本県海水養殖漁業協同組合栖本加工場

参加者：漁業士 2 名、水産課 1 名

概要：同大学の学生が養殖魚の加工施設を訪問し、加工工程を見学した。その後、

HACCP 制度について、熊本県水産研究センターの職員が講義を行った。

最後に、漁業士（養殖業者）と栄養士を目指す学生により、魚食に関する考え方について意見交換が行われた。

### 【成果・活用】

食育の日においては 180 名の学生が魚食について考える機会を持った。加工場見学には 16 名の学生の参加があり、学生の魚食文化への理解が深まったと考えられた。本取り組みを継続し、魚食普及を更に推進したい。



写真1 熊本日日新聞記事  
(平成30年(2018年)6月30日)



写真2 学食で提供された限定ランチ



写真3 ステージイベントの様子  
(ステージ上右から2番目が濱会長)



写真4 パネル、資料等の展示



写真5 加工工程を見学する大学生



写真6 漁業士と大学生との意見交換